

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
410035	X-31-B-1-410035	2	後期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×
授業科目	担当教員			【3年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×
				【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
基礎ゼミナール 2 J1	安藤 篤也			【1－3年次生】経営情報学部経営学科	専門	必修	1年
				【1－3年次生】経営情報学部情報システム学科	専門	必修	1年
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
		【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×		
ゼミテーマ・タイトル							
基礎ゼミナール1に引き続き、学生生活を送るうえで必要である適正な学習・生活リズムを獲得することを目的とする。 また、ノートの取り方やレポートの書き方などの文書作成スキルの取得も目的とする。 続いて、大学の中での学びの方向付けとして、経営学科では2年次に向けて、どの教員の応用ゼミナールを履修したいか、情報システム学科では2年3年次に向けて、どのような卒業研究をしたいかとJABEEについて確認する。「夏期セミナー」のガイダンスも行う。 さらに、将来どのような業種や職種の職業に就きたいか、卒業後どのような人生を描くか、キャリアについて確認する。「キャリア開発」のガイダンスも行う。							
内容							
下記の項目を実施する。 ただし、各クラスで進捗状況により具体的内容や順序・回数が若干異なる場合がある。 文書作成スキル（基本的には両学科共通） 5回 ・ノートの取り方 ・作文・文章作成、レポートの書き方 ・アンケートの取り方、データ分析のやり方 大学の中での学びの方向付け（学科に即した内容） 4回 ・自分は何に興味を持っているのか、何を学びたいか ・夏期セミナーガイダンス ・各学科のカリキュラムについて調べる ・経営学科 ・2年次に向けてどの教員の応用ゼミナールを履修したいか ・情報システム学科 ・JABEE ガイダンス ・2年・3年次に向けて、どのような卒業研究がしたいか、行きたい研究室はどこか 卒業後のキャリア（学科に即した内容） 2回 ・キャリア開発ガイダンス ・将来どのような業種や職種の職業に就きたいか グループワーク（学科に即した題材を選ぶ） 4回 【毎回予習・復習に合わせて4時間】							
使用予定テキスト							
テキストを配布する。							
ゼミの進め方							
・少人数のクラス(1クラス15名程度)で実施する学科別のクラス編成となり、各クラスを教員1名が担当する。 ・学生と教員および学生同士の密接なコミュニケーションをすすめる場としても活用する。 ・上述したスキルや学びの方向付けをするとともに、他者との協業（グループワーク）を通じて問題解決能力を獲得することも目的とする。							
成績評価基準							
・適宜実施するプレゼンテーション、グループワーク、課題レポートなどに点数を付け、合計点を100点満点に換算して評価する。 ・フィードバック：プレゼンテーションは改善点を見出すため全員で評価し、その後改善を実施する。課題レポートについても講評を行なう。							
ゼミ選択上のアドバイス							
特になし							
実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性					アクティブラーニング（ディスカッション、グループワーク、発表 等）の実施	
×						○	
その他							
JABEE：関連する学習・到達目標：A							

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
410035	X-31-B-1-410035	2	後期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×
授業科目	担当教員			【3年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×
				【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
基礎ゼミナール 2 J2	河原 和好			【1－3年次生】経営情報学部経営学科	専門	必修	1年
				【1－3年次生】経営情報学部情報システム学科	専門	必修	1年
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
		【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×		
ゼミテーマ・タイトル							
基礎ゼミナール1に引き続き、学生生活を送るうえで必要である適正な学習・生活リズムを獲得することを目的とする。 また、ノートの取り方やレポートの書き方などの文書作成スキルの取得も目的とする。 続いて、大学の中での学びの方向付けとして、経営学科では2年次に向けて、どの教員の応用ゼミナールを履修したいか、情報システム学科では2年3年次に向けて、どのような卒業研究をしたいかとJABEEについて確認する。「夏期セミナー」のガイダンスも行う。 さらに、将来どのような業種や職種の職業に就きたいか、卒業後どのような人生を描くか、キャリアについて確認する。「キャリア開発」のガイダンスも行う。							
内容							
下記の項目を実施する。 ただし、各クラスで進捗状況により具体的内容や順序・回数が若干異なる場合がある。 文書作成スキル（基本的には両学科共通） 5回 ・ノートの取り方 ・作文・文章作成、レポートの書き方 ・アンケートの取り方、データ分析のやり方 大学の中での学びの方向付け（学科に即した内容） 4回 ・自分は何に興味を持っているのか、何を学びたいか ・夏期セミナーガイダンス ・各学科のカリキュラムについて調べる ・経営学科 ・2年次に向けてどの教員の応用ゼミナールを履修したいか ・情報システム学科 ・JABEE ガイダンス ・2年・3年次に向けて、どのような卒業研究がしたいか、行きたい研究室はどこか 卒業後のキャリア（学科に即した内容） 2回 ・キャリア開発ガイダンス ・将来どのような業種や職種の職業に就きたいか グループワーク（学科に即した題材を選ぶ） 4回 【毎回予習・復習に合わせて4時間】							
使用予定テキスト							
テキストを配布する。							
ゼミの進め方							
・少人数のクラス(1クラス15名程度)で実施する学科別のクラス編成となり、各クラスを教員1名が担当する。 ・学生と教員および学生同士の密接なコミュニケーションをすすめる場としても活用する。 ・上述したスキルや学びの方向付けをするとともに、他者との協業（グループワーク）を通じて問題解決能力を獲得することも目的とする。							
成績評価基準							
・適宜実施するプレゼンテーション、グループワーク、課題レポートなどに点数を付け、合計点を100点満点に換算して評価する。 ・フィードバック：プレゼンテーションは改善点を見出すため全員で評価し、その後改善を実施する。課題レポートについても講評を行なう。							
ゼミ選択上のアドバイス							
特になし							
実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性					アクティブラーニング（ディスカッション、グループワーク、発表 等）の実施	
×						○	
その他							
JABEE：関連する学習・到達目標：A							

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
410035	X-31-B-1-410035	2	後期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×
授業科目	担当教員			【3年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×
				【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
基礎ゼミナール 2 J3	桑原 悟			【1－3年次生】経営情報学部経営学科	専門	必修	1年
				【1－3年次生】経営情報学部情報システム学科	専門	必修	1年
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×
ゼミテーマ・タイトル							
基礎ゼミナール1に引き続き、学生生活を送るうえで必要である適正な学習・生活リズムを獲得することを目的とする。 また、ノートの取り方やレポートの書き方などの文書作成スキルの取得も目的とする。 続いて、大学の中での学びの方向付けとして、経営学科では2年次に向けて、どの教員の応用ゼミナールを履修したいか、情報システム学科では2年3年次に向けて、どのような卒業研究をしたいかとJABEEについて確認する。「夏期セミナー」のガイダンスも行う。 さらに、将来どのような業種や職種の職業に就きたいか、卒業後どのような人生を描くか、キャリアについて確認する。「キャリア開発」のガイダンスも行う。							
内容							
下記の項目を実施する。 ただし、各クラスで進捗状況により具体的内容や順序・回数が若干異なる場合がある。 文書作成スキル（基本的には両学科共通） 5回 ・ノートの取り方 ・作文・文章作成、レポートの書き方 ・アンケートの取り方、データ分析のやり方 大学の中での学びの方向付け（学科に即した内容） 4回 ・自分は何に興味を持っているのか、何を学びたいか ・夏期セミナーガイダンス ・各学科のカリキュラムについて調べる ・経営学科 ・2年次に向けてどの教員の応用ゼミナールを履修したいか ・情報システム学科 ・JABEE ガイダンス ・2年・3年次に向けて、どのような卒業研究がしたいか、行きたい研究室はどこか 卒業後のキャリア（学科に即した内容） 2回 ・キャリア開発ガイダンス ・将来どのような業種や職種の職業に就きたいか グループワーク（学科に即した題材を選ぶ） 4回 【毎回予習・復習に合わせて4時間】							
使用予定テキスト							
テキストを配布する。							
ゼミの進め方							
・少人数のクラス(1クラス15名程度)で実施する学科別のクラス編成となり、各クラスを教員1名が担当する。 ・学生と教員および学生同士の密接なコミュニケーションをすすめる場としても活用する。 ・上述したスキルや学びの方向付けをするとともに、他者との協業（グループワーク）を通じて問題解決能力を獲得することも目的とする。							
成績評価基準							
・適宜実施するプレゼンテーション、グループワーク、課題レポートなどに点数を付け、合計点を100点満点に換算して評価する。 ・フィードバック：プレゼンテーションは改善点を見出すため全員で評価し、その後改善を実施する。課題レポートについても講評を行なう。							
ゼミ選択上のアドバイス							
特になし							
実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性					アクティブラーニング（ディスカッション、グループワーク、発表 等）の実施	
×						○	
その他							
JABEE：関連する学習・到達目標：A							

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
410035	X-31-B-1-410035	2	後期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×
				【3年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×
授業科目	担当教員			【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
基礎ゼミナール 2 J4	小林 満男			【1－3年次生】経営情報学部経営学科	専門	必修	1年
				【1－3年次生】経営情報学部情報システム学科	専門	必修	1年
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
		【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×		
ゼミテーマ・タイトル							
基礎ゼミナール1に引き続き、学生生活を送るうえで必要である適正な学習・生活リズムを獲得することを目的とする。 また、ノートの取り方やレポートの書き方などの文書作成スキルの取得も目的とする。 続いて、大学の中での学びの方向付けとして、経営学科では2年次に向けて、どの教員の応用ゼミナールを履修したいか、情報システム学科では2年3年次に向けて、どのような卒業研究をしたいかとJABEEについて確認する。「夏期セミナー」のガイダンスも行う。 さらに、将来どのような業種や職種の職業に就きたいか、卒業後どのような人生を描くか、キャリアについて確認する。「キャリア開発」のガイダンスも行う。							
内容							
下記の項目を実施する。 ただし、各クラスで進捗状況により具体的内容や順序・回数が若干異なる場合がある。 文書作成スキル（基本的には両学科共通） 5回 ・ノートの取り方 ・作文・文章作成、レポートの書き方 ・アンケートの取り方、データ分析のやり方 大学の中での学びの方向付け（学科に即した内容） 4回 ・自分は何に興味を持っているのか、何を学びたいか ・夏期セミナーガイダンス ・各学科のカリキュラムについて調べる ・経営学科 ・2年次に向けてどの教員の応用ゼミナールを履修したいか ・情報システム学科 ・JABEE ガイダンス ・2年・3年次に向けて、どのような卒業研究がしたいか、行きたい研究室はどこか 卒業後のキャリア（学科に即した内容） 2回 ・キャリア開発ガイダンス ・将来どのような業種や職種の職業に就きたいか グループワーク（学科に即した題材を選ぶ） 4回 【毎回予習・復習に合わせて4時間】							
使用予定テキスト							
テキストを配布する。							
ゼミの進め方							
・少人数のクラス(1クラス15名程度)で実施する学科別のクラス編成となり、各クラスを教員1名が担当する。 ・学生と教員および学生同士の密接なコミュニケーションをすすめる場としても活用する。 ・上述したスキルや学びの方向付けをするとともに、他者との協業（グループワーク）を通じて問題解決能力を獲得することも目的とする。							
成績評価基準							
・適宜実施するプレゼンテーション、グループワーク、課題レポートなどに点数を付け、合計点を100点満点に換算して評価する。 ・フィードバック：プレゼンテーションは改善点を見出すため全員で評価し、その後改善を実施する。課題レポートについても講評を行なう。							
ゼミ選択上のアドバイス							
特になし							
実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性					アクティブラーニング（ディスカッション、グループワーク、発表 等）の実施	
×						○	
その他							
JABEE：関連する学習・到達目標：A							

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
410035	X-31-B-1-410035	2	後期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×
授業科目	担当教員			【3年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×
				【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
基礎ゼミナール 2 J5	近山 英輔			【1－3年次生】経営情報学部経営学科	専門	必修	1年
				【1－3年次生】経営情報学部情報システム学科	専門	必修	1年
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
		【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×		
ゼミテーマ・タイトル							
基礎ゼミナール1に引き続き、学生生活を送るうえで必要である適正な学習・生活リズムを獲得することを目的とする。 また、ノートの取り方やレポートの書き方などの文書作成スキルの取得も目的とする。 続いて、大学の中での学びの方向付けとして、経営学科では2年次に向けて、どの教員の応用ゼミナールを履修したいか、情報システム学科では2年3年次に向けて、どのような卒業研究をしたいかとJABEEについて確認する。「夏期セミナー」のガイダンスも行う。 さらに、将来どのような業種や職種の職業に就きたいか、卒業後どのような人生を描くか、キャリアについて確認する。「キャリア開発」のガイダンスも行う。							
内容							
下記の項目を実施する。 ただし、各クラスで進捗状況により具体的内容や順序・回数が若干異なる場合がある。 文書作成スキル（基本的には両学科共通） 5回 ・ノートの取り方 ・作文・文章作成、レポートの書き方 ・アンケートの取り方、データ分析のやり方 大学の中での学びの方向付け（学科に即した内容） 4回 ・自分は何に興味を持っているのか、何を学びたいか ・夏期セミナーガイダンス ・各学科のカリキュラムについて調べる ・経営学科 ・2年次に向けてどの教員の応用ゼミナールを履修したいか ・情報システム学科 ・JABEE ガイダンス ・2年・3年次に向けて、どのような卒業研究がしたいか、行きたい研究室はどこか 卒業後のキャリア（学科に即した内容） 2回 ・キャリア開発ガイダンス ・将来どのような業種や職種の職業に就きたいか グループワーク（学科に即した題材を選ぶ） 4回 【毎回予習・復習に合わせて4時間】							
使用予定テキスト							
テキストを配布する。							
ゼミの進め方							
・少人数のクラス(1クラス15名程度)で実施する学科別のクラス編成となり、各クラスを教員1名が担当する。 ・学生と教員および学生同士の密接なコミュニケーションをすすめる場としても活用する。 ・上述したスキルや学びの方向付けをするとともに、他者との協業（グループワーク）を通じて問題解決能力を獲得することも目的とする。							
成績評価基準							
・適宜実施するプレゼンテーション、グループワーク、課題レポートなどに点数を付け、合計点を100点満点に換算して評価する。 ・フィードバック：プレゼンテーションは改善点を見出すため全員で評価し、その後改善を実施する。課題レポートについても講評を行なう。							
ゼミ選択上のアドバイス							
特になし							
実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性					アクティブラーニング（ディスカッション、グループワーク、発表 等）の実施	
×						○	
その他							
JABEE：関連する学習・到達目標：A							

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
410035	X-31-B-1-410035	2	後期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×
授業科目	担当教員			【3年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×
				【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
基礎ゼミナール 2 K1	今井 裕紀			【1－3年次生】経営情報学部経営学科	専門	必修	1年
				【1－3年次生】経営情報学部情報システム学科	専門	必修	1年
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×
ゼミテーマ・タイトル							
基礎ゼミナール1に引き続き、学生生活を送るうえで必要である適正な学習・生活リズムを獲得することを目的とする。 また、ノートの取り方やレポートの書き方などの文書作成スキルの取得も目的とする。 続いて、大学の中での学びの方向付けとして、経営学科では2年次に向けて、どの教員の応用ゼミナールを履修したいか、情報システム学科では2年3年次に向けて、どのような卒業研究をしたいかとJABEEについて確認する。「夏期セミナー」のガイダンスも行う。 さらに、将来どのような業種や職種の職業に就きたいか、卒業後どのような人生を描くか、キャリアについて確認する。「キャリア開発」のガイダンスも行う。							
内容							
下記の項目を実施する。 ただし、各クラスで進捗状況により具体的内容や順序・回数が若干異なる場合がある。 文書作成スキル（基本的には両学科共通） 5回 ・ノートの取り方 ・作文・文章作成、レポートの書き方 ・アンケートの取り方、データ分析のやり方 大学の中での学びの方向付け（学科に即した内容） 4回 ・自分は何に興味を持っているのか、何を学びたいか ・夏期セミナーガイダンス ・各学科のカリキュラムについて調べる ・経営学科 ・2年次に向けてどの教員の応用ゼミナールを履修したいか ・情報システム学科 ・JABEEガイダンス ・2年・3年次に向けて、どのような卒業研究がしたいか、行きたい研究室はどこか 卒業後のキャリア（学科に即した内容） 2回 ・キャリア開発ガイダンス ・将来どのような業種や職種の職業に就きたいか グループワーク（学科に即した題材を選ぶ） 4回 【毎回予習・復習に合わせて4時間】							
使用予定テキスト							
テキストを配布する。							
ゼミの進め方							
・少人数のクラス(1クラス15名程度)で実施する学科別のクラス編成となり、各クラスを教員1名が担当する。 ・学生と教員および学生同士の密接なコミュニケーションをすすめる場としても活用する。 ・上述したスキルや学びの方向付けをするとともに、他者との協業（グループワーク）を通じて問題解決能力を獲得することも目的とする。							
成績評価基準							
・適宜実施するプレゼンテーション、グループワーク、課題レポートなどに点数を付け、合計点を100点満点に換算して評価する。 ・フィードバック：プレゼンテーションは改善点を見出すため全員で評価し、その後改善を実施する。課題レポートについても講評を行なう。							
ゼミ選択上のアドバイス							
特になし							
実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性					アクティブラーニング（ディスカッション、グループワーク、発表 等）の実施	
×						○	
その他							
JABEE：関連する学習・到達目標：A							

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
410035	X-31-B-1-410035	2	後期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×
授業科目	担当教員			【3年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×
				【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
基礎ゼミナール 2 K2	佐々木 桐子			【1－3年次生】経営情報学部経営学科	専門	必修	1年
				【1－3年次生】経営情報学部情報システム学科	専門	必修	1年
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×
ゼミテーマ・タイトル							
基礎ゼミナール1に引き続き、学生生活を送るうえで必要である適正な学習・生活リズムを獲得することを目的とする。 また、ノートの取り方やレポートの書き方などの文書作成スキルの取得も目的とする。 続いて、大学の中での学びの方向付けとして、経営学科では2年次に向けて、どの教員の応用ゼミナールを履修したいか、情報システム学科では2年3年次に向けて、どのような卒業研究をしたいかとJABEEについて確認する。「夏期セミナー」のガイダンスも行う。 さらに、将来どのような業種や職種の職業に就きたいか、卒業後どのような人生を描くか、キャリアについて確認する。「キャリア開発」のガイダンスも行う。							
内容							
下記の項目を実施する。 ただし、各クラスで進捗状況により具体的内容や順序・回数が若干異なる場合がある。 文書作成スキル（基本的には両学科共通） 5回 ・ノートの取り方 ・作文・文章作成、レポートの書き方 ・アンケートの取り方、データ分析のやり方 大学の中での学びの方向付け（学科に即した内容） 4回 ・自分は何に興味を持っているのか、何を学びたいか ・夏期セミナーガイダンス ・各学科のカリキュラムについて調べる ・経営学科 ・2年次に向けてどの教員の応用ゼミナールを履修したいか ・情報システム学科 ・JABEE ガイダンス ・2年・3年次に向けて、どのような卒業研究がしたいか、行きたい研究室はどこか 卒業後のキャリア（学科に即した内容） 2回 ・キャリア開発ガイダンス ・将来どのような業種や職種の職業に就きたいか グループワーク（学科に即した題材を選ぶ） 4回 【毎回予習・復習に合わせて4時間】							
使用予定テキスト							
テキストを配布する。							
ゼミの進め方							
・少人数のクラス(1クラス15名程度)で実施する学科別のクラス編成となり、各クラスを教員1名が担当する。 ・学生と教員および学生同士の密接なコミュニケーションをすすめる場としても活用する。 ・上述したスキルや学びの方向付けをするとともに、他者との協業（グループワーク）を通じて問題解決能力を獲得することも目的とする。							
成績評価基準							
・適宜実施するプレゼンテーション、グループワーク、課題レポートなどに点数を付け、合計点を100点満点に換算して評価する。 ・フィードバック：プレゼンテーションは改善点を見出すため全員で評価し、その後改善を実施する。課題レポートについても講評を行なう。							
ゼミ選択上のアドバイス							
特になし							
実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性					アクティブラーニング（ディスカッション、グループワーク、発表 等）の実施	
×						○	
その他							
JABEE：関連する学習・到達目標：A							

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
410035	X-31-B-1-410035	2	後期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×
授業科目	担当教員			【3年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×
				【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
基礎ゼミナール 2 K3	佐々木 宏之			【1－3年次生】経営情報学部経営学科	専門	必修	1年
				【1－3年次生】経営情報学部情報システム学科	専門	必修	1年
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×
ゼミテーマ・タイトル							
基礎ゼミナール1に引き続き、学生生活を送るうえで必要である適正な学習・生活リズムを獲得することを目的とする。 また、ノートの取り方やレポートの書き方などの文書作成スキルの取得も目的とする。 続いて、大学の中での学びの方向付けとして、経営学科では2年次に向けて、どの教員の応用ゼミナールを履修したいか、情報システム学科では2年3年次に向けて、どのような卒業研究をしたいかとJABEEについて確認する。「夏期セミナー」のガイダンスも行う。 さらに、将来どのような業種や職種の職業に就きたいか、卒業後どのような人生を描くか、キャリアについて確認する。「キャリア開発」のガイダンスも行う。							
内容							
下記の項目を実施する。 ただし、各クラスで進捗状況により具体的内容や順序・回数が若干異なる場合がある。 文書作成スキル（基本的には両学科共通） 5回 ・ノートの取り方 ・作文・文章作成、レポートの書き方 ・アンケートの取り方、データ分析のやり方 大学の中での学びの方向付け（学科に即した内容） 4回 ・自分は何に興味を持っているのか、何を学びたいか ・夏期セミナーガイダンス ・各学科のカリキュラムについて調べる ・経営学科 ・2年次に向けてどの教員の応用ゼミナールを履修したいか ・情報システム学科 ・JABEEガイダンス ・2年・3年次に向けて、どのような卒業研究がしたいか、行きたい研究室はどこか 卒業後のキャリア（学科に即した内容） 2回 ・キャリア開発ガイダンス ・将来どのような業種や職種の職業に就きたいか グループワーク（学科に即した題材を選ぶ） 4回 【毎回予習・復習に合わせて4時間】							
使用予定テキスト							
テキストを配布する。							
ゼミの進め方							
・少人数のクラス(1クラス15名程度)で実施する学科別のクラス編成となり、各クラスを教員1名が担当する。 ・学生と教員および学生同士の密接なコミュニケーションをすすめる場としても活用する。 ・上述したスキルや学びの方向付けをするとともに、他者との協業（グループワーク）を通じて問題解決能力を獲得することも目的とする。							
成績評価基準							
・適宜実施するプレゼンテーション、グループワーク、課題レポートなどに点数を付け、合計点を100点満点に換算して評価する。 ・フィードバック：プレゼンテーションは改善点を見出すため全員で評価し、その後改善を実施する。課題レポートについても講評を行なう。							
ゼミ選択上のアドバイス							
特になし							
実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性					アクティブラーニング（ディスカッション、グループワーク、発表 等）の実施	
×						○	
その他							
JABEE：関連する学習・到達目標：A							

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
410035	X-31-B-1-410035	2	後期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×
授業科目	担当教員			【3年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×
				【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
基礎ゼミナール 2 K4	土屋 翔			【1－3年次生】経営情報学部経営学科	専門	必修	1年
				【1－3年次生】経営情報学部情報システム学科	専門	必修	1年
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×
ゼミテーマ・タイトル							
基礎ゼミナール1に引き続き、学生生活を送るうえで必要である適正な学習・生活リズムを獲得することを目的とする。 また、ノートの取り方やレポートの書き方などの文書作成スキルの取得も目的とする。 続いて、大学の中での学びの方向付けとして、経営学科では2年次に向けて、どの教員の応用ゼミナールを履修したいか、情報システム学科では2年3年次に向けて、どのような卒業研究をしたいかとJABEEについて確認する。「夏期セミナー」のガイダンスも行う。 さらに、将来どのような業種や職種の職業に就きたいか、卒業後どのような人生を描くか、キャリアについて確認する。「キャリア開発」のガイダンスも行う。							
内容							
下記の項目を実施する。 ただし、各クラスで進捗状況により具体的内容や順序・回数が若干異なる場合がある。 文書作成スキル（基本的には両学科共通） 5回 ・ノートの取り方 ・作文・文章作成、レポートの書き方 ・アンケートの取り方、データ分析のやり方 大学の中での学びの方向付け（学科に即した内容） 4回 ・自分は何に興味を持っているのか、何を学びたいか ・夏期セミナーガイダンス ・各学科のカリキュラムについて調べる ・経営学科 ・2年次に向けてどの教員の応用ゼミナールを履修したいか ・情報システム学科 ・JABEEガイダンス ・2年・3年次に向けて、どのような卒業研究がしたいか、行きたい研究室はどこか 卒業後のキャリア（学科に即した内容） 2回 ・キャリア開発ガイダンス ・将来どのような業種や職種の職業に就きたいか グループワーク（学科に即した題材を選ぶ） 4回 【毎回予習・復習に合わせて4時間】							
使用予定テキスト							
テキストを配布する。							
ゼミの進め方							
・少人数のクラス(1クラス15名程度)で実施する学科別のクラス編成となり、各クラスを教員1名が担当する。 ・学生と教員および学生同士の密接なコミュニケーションをすすめる場としても活用する。 ・上述したスキルや学びの方向付けをするとともに、他者との協業（グループワーク）を通じて問題解決能力を獲得することも目的とする。							
成績評価基準							
・適宜実施するプレゼンテーション、グループワーク、課題レポートなどに点数を付け、合計点を100点満点に換算して評価する。 ・フィードバック：プレゼンテーションは改善点を見出すため全員で評価し、その後改善を実施する。課題レポートについても講評を行なう。							
ゼミ選択上のアドバイス							
特になし							
実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性					アクティブラーニング（ディスカッション、グループワーク、発表 等）の実施	
×						○	
その他							
JABEE：関連する学習・到達目標：A							

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
410035	X-31-B-1-410035	2	後期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×
授業科目	担当教員			【3年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×
				【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
基礎ゼミナール 2 K5	藤田 晴啓			【1－3年次生】経営情報学部経営学科	専門	必修	1年
				【1－3年次生】経営情報学部情報システム学科	専門	必修	1年
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
		【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×		
ゼミテーマ・タイトル							
基礎ゼミナール1に引き続き、学生生活を送るうえで必要である適正な学習・生活リズムを獲得することを目的とする。 また、ノートの取り方やレポートの書き方などの文書作成スキルの取得も目的とする。 続いて、大学の中での学びの方向付けとして、経営学科では2年次に向けて、どの教員の応用ゼミナールを履修したいか、情報システム学科では2年3年次に向けて、どのような卒業研究をしたいかとJABEEについて確認する。「夏期セミナー」のガイダンスも行う。 さらに、将来どのような業種や職種の職業に就きたいか、卒業後どのような人生を描くか、キャリアについて確認する。「キャリア開発」のガイダンスも行う。							
内容							
下記の項目を実施する。 ただし、各クラスで進捗状況により具体的内容や順序・回数が若干異なる場合がある。 文書作成スキル（基本的には両学科共通） 5回 ・ノートの取り方 ・作文・文章作成、レポートの書き方 ・アンケートの取り方、データ分析のやり方 大学の中での学びの方向付け（学科に即した内容） 4回 ・自分は何に興味を持っているのか、何を学びたいか ・夏期セミナーガイダンス ・各学科のカリキュラムについて調べる ・経営学科 ・2年次に向けてどの教員の応用ゼミナールを履修したいか ・情報システム学科 ・JABEE ガイダンス ・2年・3年次に向けて、どのような卒業研究がしたいか、行きたい研究室はどこか 卒業後のキャリア（学科に即した内容） 2回 ・キャリア開発ガイダンス ・将来どのような業種や職種の職業に就きたいか グループワーク（学科に即した題材を選ぶ） 4回 【毎回予習・復習に合わせて4時間】							
使用予定テキスト							
テキストを配布する。							
ゼミの進め方							
・少人数のクラス(1クラス15名程度)で実施する学科別のクラス編成となり、各クラスを教員1名が担当する。 ・学生と教員および学生同士の密接なコミュニケーションをすすめる場としても活用する。 ・上述したスキルや学びの方向付けをするとともに、他者との協業（グループワーク）を通じて問題解決能力を獲得することも目的とする。							
成績評価基準							
・適宜実施するプレゼンテーション、グループワーク、課題レポートなどに点数を付け、合計点を100点満点に換算して評価する。 ・フィードバック：プレゼンテーションは改善点を見出すため全員で評価し、その後改善を実施する。課題レポートについても講評を行なう。							
ゼミ選択上のアドバイス							
特になし							
実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性					アクティブラーニング（ディスカッション、グループワーク、発表 等）の実施	
×						○	
その他							
JABEE：関連する学習・到達目標：A							

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
410035	X-31-B-1-410035	2	後期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×
授業科目	担当教員			【3年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×
				【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
基礎ゼミナール 2 K6	山下 功			【1－3年次生】経営情報学部経営学科	専門	必修	1年
				【1－3年次生】経営情報学部情報システム学科	専門	必修	1年
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
		【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×		
ゼミテーマ・タイトル							
基礎ゼミナール1に引き続き、学生生活を送るうえで必要である適正な学習・生活リズムを獲得することを目的とする。 また、ノートの取り方やレポートの書き方などの文書作成スキルの取得も目的とする。 続いて、大学の中での学びの方向付けとして、経営学科では2年次に向けて、どの教員の応用ゼミナールを履修したいか、情報システム学科では2年3年次に向けて、どのような卒業研究をしたいかとJABEEについて確認する。「夏期セミナー」のガイダンスも行う。 さらに、将来どのような業種や職種の職業に就きたいか、卒業後どのような人生を描くか、キャリアについて確認する。「キャリア開発」のガイダンスも行う。							
内容							
下記の項目を実施する。 ただし、各クラスで進捗状況により具体的内容や順序・回数が若干異なる場合がある。 文書作成スキル（基本的には両学科共通） 5回 ・ノートの取り方 ・作文・文章作成、レポートの書き方 ・アンケートの取り方、データ分析のやり方 大学の中での学びの方向付け（学科に即した内容） 4回 ・自分は何に興味を持っているのか、何を学びたいか ・夏期セミナーガイダンス ・各学科のカリキュラムについて調べる ・経営学科 ・2年次に向けてどの教員の応用ゼミナールを履修したいか ・情報システム学科 ・JABEE ガイダンス ・2年・3年次に向けて、どのような卒業研究がしたいか、行きたい研究室はどこか 卒業後のキャリア（学科に即した内容） 2回 ・キャリア開発ガイダンス ・将来どのような業種や職種の職業に就きたいか グループワーク（学科に即した題材を選ぶ） 4回 【毎回予習・復習に合わせて4時間】							
使用予定テキスト							
テキストを配布する。							
ゼミの進め方							
・少人数のクラス(1クラス15名程度)で実施する学科別のクラス編成となり、各クラスを教員1名が担当する。 ・学生と教員および学生同士の密接なコミュニケーションをすすめる場としても活用する。 ・上述したスキルや学びの方向付けをするとともに、他者との協業（グループワーク）を通じて問題解決能力を獲得することも目的とする。							
成績評価基準							
・適宜実施するプレゼンテーション、グループワーク、課題レポートなどに点数を付け、合計点を100点満点に換算して評価する。 ・フィードバック：プレゼンテーションは改善点を見出すため全員で評価し、その後改善を実施する。課題レポートについても講評を行なう。							
ゼミ選択上のアドバイス							
特になし							
実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性					アクティブラーニング（ディスカッション、グループワーク、発表 等）の実施	
×						○	
その他							
JABEE：関連する学習・到達目標：A							

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習